

河北都市計画マスタープラン 概要版



平成 29 年 3 月



河北町

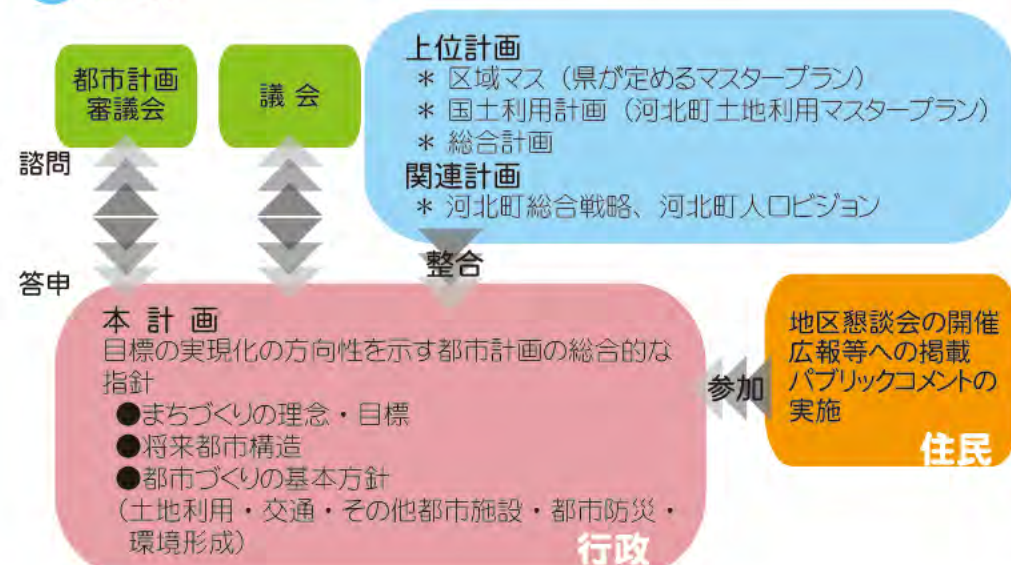
都市計画マスタープランとは

見直しの背景と目的

河北町では、平成 10 年3月に河北都市計画マスタープランを策定し、これに基づきまちづくりを進めてきました。しかし、平成 28 年度末で計画策定から 19 年が経過し、人口減少社会の到来や大規模災害の頻発等の社会経済情勢の大きな変化に対応しつつ、法改正や上位関連計画等の改定を踏まえた、町の飛躍を担うまちづくりの展開が求められています。

河北都市計画マスタープランは、まちづくりの現状や総合計画・総合戦略などを踏まえ、20 年後の「目指すべき都市の将来像」を明確に定めるとともに、土地利用や都市施設等（道路、公園、下水道施設等）の整備方針を示すことで、今後のまちづくりの道筋を示すものです。見直しの背景を踏まえ、まちづくりを効果的に進めるとともに、新たな都市の将来像の具現化を図ることを目的とします。

位置づけ



対象区域及び目標年次

■ 計画の対象区域 **河北都市計画区域（約 3,511ha）**
 及び最上川以東で本町域となる東根都市計画区域内

■ 目標年次 **20 年後の平成 48 年（2036 年）**

まちづくりの課題

住民意向調査

社会経済情勢

- ① 雪や災害に強いまちづくり
- ② 既存ストックを活用した市街地の魅力の向上
- ③ 人口減少と高齢化への適切な対応
- ④ 町民生活を支える交通ネットワークの強化
- ⑤ 産業の活性化
- ⑥ 美しく豊かな自然環境の保全と活用
- ⑦ 地域コミュニティの維持と地域資源・文化・歴史を活用した新たな魅力づくり



全体構想

まちづくりの理念・目標

まちづくりの基本理念

「雛とべに花の里 人輝き ひらく未来」

—歴史・文化が調和し、交流と活力あるまちづくりの展開—



- 目標 1：多くの人が安心して暮らせる住みやすいまちづくり
- 目標 2：多世代の居住ニーズに対応したまちづくり
- 目標 3：産業と都市間ネットワークを強化するまちづくり
- 目標 4：自然環境（美しく豊かな自然）や雛とべに花の里の魅力（歴史・文化）を活かしたまちづくり
- 目標 5：みんなでつくる魅力あふれるまちづくり

目標人口 20 年後の平成 48 年（2036 年）の将来人口を **約 17,000 人**

将来都市構造

■ 都市の基本構造

本町は、東に最上川、南に寒河江川が流れ、西に月山を眺望し、平野部は美しい田園が広がっています。市街地は町の中央に位置し、都市基盤が整備され、行政、医療、福祉、商業、交流など様々な都市機能が集積した質の高い中心地となっています。また、広域的には県都山形市まで車で 30 分、仙台市に 1 時間の距離にあるなど、交通面にも恵まれた条件にあります。これらは都市の基本構造となるものであり、これを骨格としつつ、まちづくりを進めます。

■ 将来都市構造の概念

将来都市構造では、土地利用の適切な誘導を図る土地利用の基本区分、人の流れや交流、活力を生み出す拠点、都市や拠点を結び、連携を強化する軸を配置し、都市の基本構造上に、人の流れや交流、活力を生み出す都市構造を設定します。



都市構造の概念図



■将来都市構造

① 土地利用の基本区分

まちなかエリア

<用途地域内を中心とするエリア>

子育て世代から高齢世代まで多様なニーズに対応できる利便性・快適性の高いエリアとして、都市機能の集積とさらなる充実、連携を図ります。新たな都市機能導入の際には、自然や農村環境との調和や需要動向に十分配慮するとともに、柔軟で段階的な整備を図ります。

里山・田園エリア

(まちなかエリア・まちなか周辺エリア以外の平坦地)

美しい農村風景の保全を基本とします。また、集落部では集落機能の維持を図るとともに、里山の環境やグリーンツーリズムを体験できる空間にも配慮します。

自然共生エリア

<上記エリア以外の山林や河川など>

山林や河川などを自然環境共生エリアとして位置づけます。自然共生エリアでは、自然環境の保全を基本とします。水辺や森林のレクリエーションなど、自然に親しむ空間に配慮します。

② 軸の配置

広域軸

<国道 287 号、国道 347 号、主要地方道寒河江村山線など>
山形空港やさくらんぼ東根駅、山形自動車道へとアクセスし、本町と広域とを結ぶ道路を広域軸として位置づけます。道路や橋梁の整備促進により、広域連携の強化を図ります。

都市軸

<主な都市計画道路>

周辺都市や本町内での主な交通を担う都市計画道路などを都市軸として位置づけます。公共交通及び自動車交通による都市間の連携強化を図ります。

地域軸

<県道 主要な町道>

地域内を連絡する道路を地域軸として位置づけます。公共交通及び自動車交通による都市間の連携強化を図ります。

③ 拠点の配置

- 都市の魅力を活用した拠点の配置 -

にぎわい拠点

<A-1 河北町どんがホールを中心とした地域>

にぎわいを創出する、商業施設や公共施設など交流を高める都市機能を今後とも積極的に集積するとともに、訪れて楽しく美しい空間づくりを進めるため、道路やオープンスペースなど都市基盤の整備を推進し、まちの顔となる都市空間の形成に努めます。

学術・文化拠点

<B-1 総合交流センターサハベに花を中心とした地域>

既存の学術・文化施設の維持・充実を図りつつ、情報発信の場となる拠点の形成を図ります。

集落拠点

<C-1 ~ 3 西里・溝延・北谷地の各集落地の中心部>

小学校や公民館などの公共・公益施設を中心に拠点となる地区の形成に努め、集落の維持に必要な都市機能の誘導を図ります。

産業拠点

<D-1 ~ 4 谷地工業団地等の工業地>

公害の防止、工場緑化など環境保全に十分配慮しながら、工場の操業環境の維持・向上を図ります。

CCRC-Y拠点

<E-1 県立河北病院とその周辺>

長期的に福祉と暮らし構想ゾーンとして、高齢者福祉と高齢者居住、若者居住が一体となった河北町らしい CCRC-Y 構想*の実現を目指す地区の形成を検討します。

※河北町らしい CCRC-Y 構想...CCRC は「Continuing Care Retirement Community」の略で、直訳すると「継続的なケア付きの高齢者たちの共同体」です。高齢者が、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりを目指すものです。河北町ではこれに加え、CCRC-Y として（Y は若者を示すヤングの意味）高齢者と若者が一緒に暮らす地区の形成を目指しています。

べに花の里拠点

<F-1 紅花資料館及び周辺>

紅花資料館の維持・充実に努めるとともに、周辺の集落地も含めた美しい歴史的まちなみ景観形成や紅花修景地の拡大を図ります。

健康・観光拠点

<G-1 ベに花温泉ひなの湯・体験型滞在施設ひなの宿、町民プール等の周辺>

観光交流人口の拡大を推進し地域の活性化を図ります。

- 自然の魅力を活用した拠点の配置 -

温泉交流拠点

<H-1 海老鶴温泉周辺>

憩いの場として、温泉を活用した交流・ふれあいを促進し、地域の活性化を図ります。

森林レクリエーション拠点

<I-1 ~ 2 引竜湖周辺、サン・スポーツランド周辺>

豊かな自然環境の保全に配慮しながら、森林と水辺の空間の活用により交流人口の拡大を図ります。

水辺レクリエーション拠点

<J-1 ~ 4 最上川グリーンパーク、寒河江川の溝延橋周辺、楨川の親水交流館周辺>

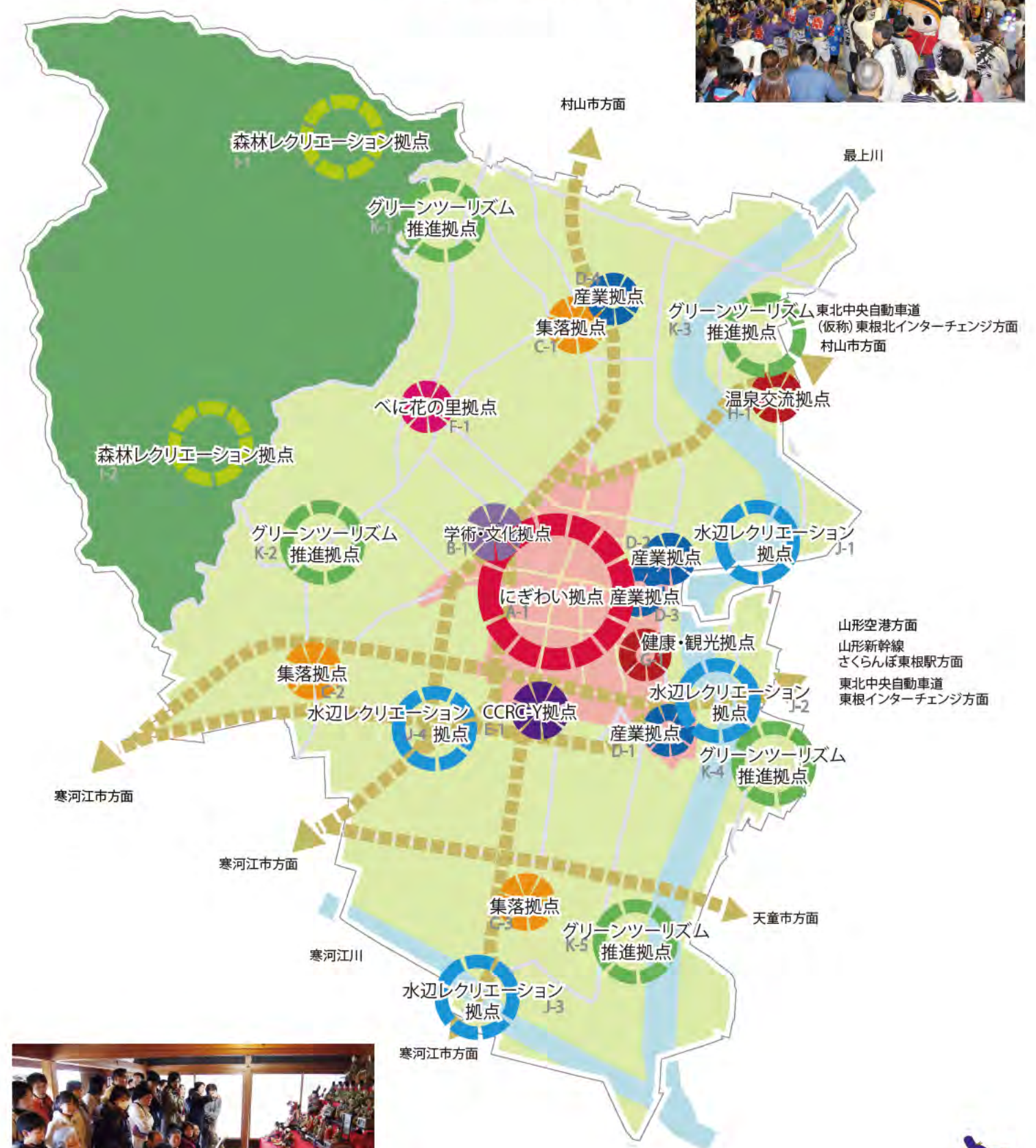
河川環境の保全に配慮しながら、スポーツ・レクリエーション施設の活用、親水空間として親しめる空間の形成を図ります。

グリーンツーリズム推進拠点

<K-1 ~ 5 最上川周辺の果樹園と岩木地区・西里地区の山麓部>

優良な果樹地帯や山麓部の豊かな農村環境を観光資源として活用し、交流人口の拡大と、都市との交流による地域振興を図ります。

将来都市構造図



土地利用の方針

■ まちなか土地利用の方針

① 商業系土地利用

***にぎわい商業・業務地 (A-1エリア)**
商業施設や公共施設など交流を高める都市機能を今後とも積極的に集積するとともに、都市基盤の整備を推進し、まちの顔となる都市空間の創出を図ります。

***学術・文化地 (B-1エリア)**
学術・文化施設の維持・充実を図りつつ、情報発信の場となる地区の形成を図ります。

***ひなの里ゾーン**
谷地ひなまつりと歴史的街並みにより形成されるひなの里の中心地区として位置づけます。

***沿道サービス地**
中心市街地の都市機能との分担に配慮しつつ、自動車利用者を考慮した沿道サービス施設の立地を誘導します。

② 工業系土地利用

***産業集積地 (D-1, 2, 3エリア)**
谷地工業団地等は、環境保全に十分配慮しながら、工場の操業環境の維持・向上を図るとともに、現工業地域指定地は、未利用地への企業誘致の推進と、今後の土地利用のあり方について検討を進めます。

***地場産業等共存地**
当面は地場産業等の工業施設と住宅等が共存する土地利用を誘導します。

③ 住居系土地利用

***景観住宅地**
日本の道 100 選に選ばれた趣のある街並みを生かすため、地区計画のルールに則った個性豊かで良好な街並み形成を図ります。

***まちなか住宅地**
共同住宅や中層程度の住宅の誘導を図り、まちなか居住を促進するとともに防災性の向上により、安全で快適な居住環境などの整備を図ります。

***低層住宅地**
低層戸建住宅地を主としたゆとりある快適な住宅地の形成を誘導するため、未利用地の解消や地区計画などの締結を促進します。

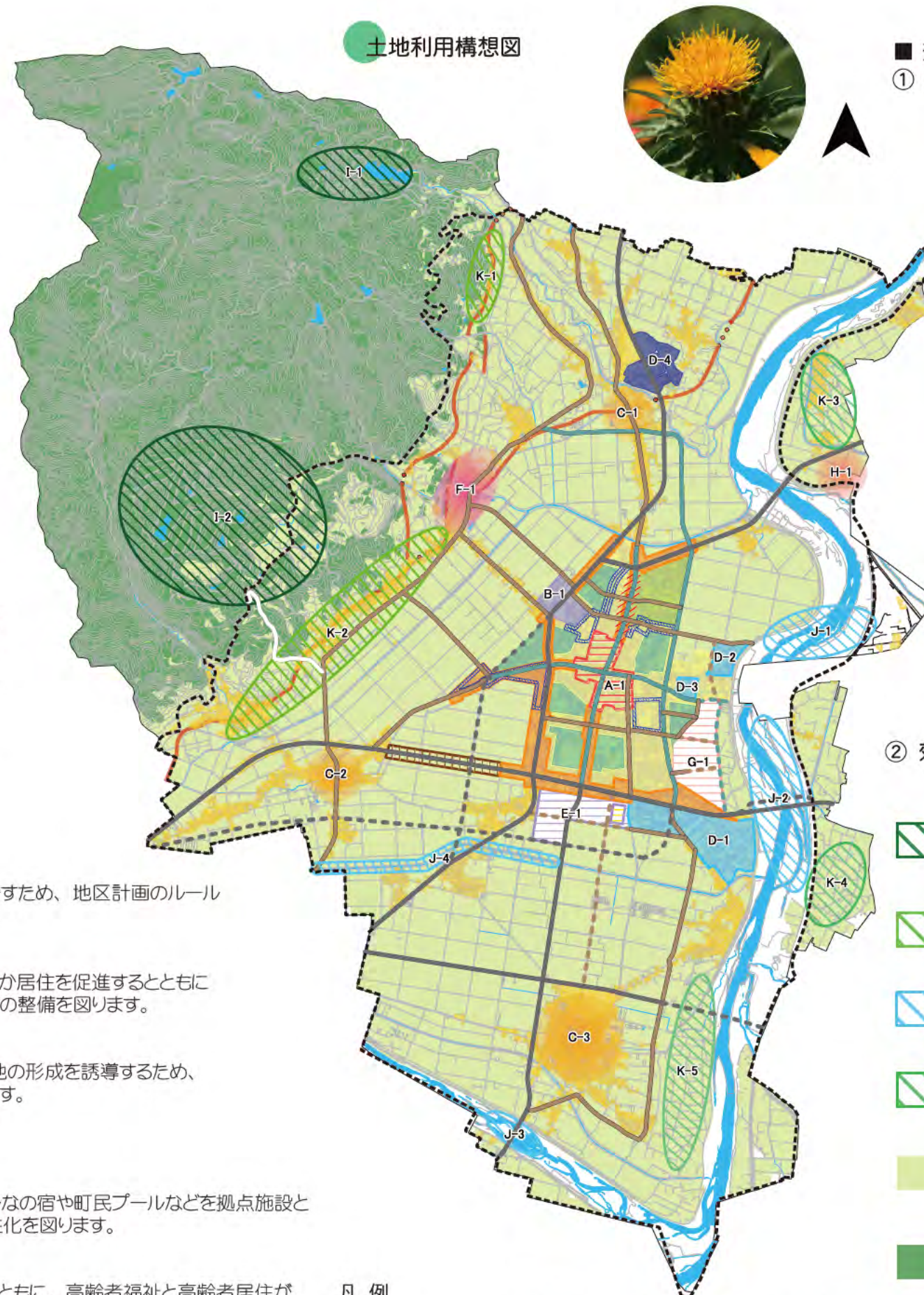
④ 既存市街地周辺の都市的土地利用

***健康と観光交流ゾーン (G-1エリア)**
べに花温泉ひなの湯と併設した体験型滞在施設ひなの宿や町民プールなどを拠点施設として、観光交流人口の拡大を推進し、地域の活性化を図ります。

***福祉と暮らし構想ゾーン (E-1エリア)**
商業施設と福祉施設の複合した開発を誘導するとともに、高齢者福祉と高齢者居住が一体となった河北町らしい CCRC-Y 構想の実現を目指す地区の形成について検討します。

***新住宅構想ゾーン**
福祉と暮らし構想ゾーン内に長期的に位置づけ、その整備を検討します。

土地利用構想図



凡 例

活断層
●●● 活断層 (伏在部)
--- 都市計画区域

幹線道路
— 既存路線
--- 構想路線

広域幹線道路
— 既存路線
--- 構想路線

補助幹線道路
— 既存路線
--- 構想路線

■ 郊外の土地利用の方針

① 郊外の都市的土地利用

***工業ゾーン (D-4エリア)**
花ノ木工業団地への町独自の優遇措置を図りつつ、企業誘致を進めます。

***住宅ゾーン**
花ノ木工業団地北側に住宅地及び公園整備について検討します。

***べに花の里ゾーン (F-1エリア)**
紅花資料館の整備・充実を中心に、周辺の集落地も含め、ルールに基づく美しい歴史的まちなみ景観形成を今後も進めます。また、紅花修景地としての活用を図ります。

***集落拠点ゾーン (C-1, 2, 3エリア)**
集落拠点ゾーンには、小学校や公民館等の公共・公益施設を中心に拠点となる地区の形成に努め、集落の維持に必要な都市機能の誘導を図ります。

***集落地ゾーン**
集落地の活性化にあたっては、集落地内に介在する農地の有効利用を促し、近接する地区への新たな宅地開発等についても検討を進めます。

***温泉交流ゾーン (H-1エリア)**
憩いの場として、温泉を活用した交流・ふれあいを促進し、地域の活性化を図ります。

***幹線道路沿道ゾーン**
市街地に近接する国道 287 号沿道については、農地との調整を図りながら有効な土地利用を推進します。

② 郊外の自然活用型土地利用

***森林レクリエーションゾーン (I-1, 2エリア)**
引竜湖周辺は、森林と水辺の空間の活用により交流人口の拡大を図ります。また、山麓地区は、町民のレクリエーションの拠点として、施設の適切な維持管理と活用を図ります。

***山麓里山ゾーン (K-1, 2エリア)**
農業生産の維持に努めながら、自然環境の保護・保全や水源かん養など多面的機能の確保と農村風景の保全を図ります。

***水辺レクリエーションゾーン (J-1, 2, 3, 4エリア)**
河川環境の保全に配慮しながら、スポーツ・レクリエーション施設の活用と、親水空間として親しめる空間の形成を図ります。

***グリーンツーリズム推進ゾーン (K-3, 4, 5エリア)**
優良なさくらんぼなどの果樹地帯を観光資源として活用し、交流人口の拡大を推進します。

***農地**
農地は、農業生産基盤の整備を推進するとともに、田園風景の形成や、水資源のかん養、洪水防止機能などを有する生産緑地として、今後もその保全を図ります。

***山林**
健全な森林資源の保全を図るとともに、町土保全、水源かん養、保養休養、自然環境保全など、森林の公益機能の充実に努めます。

***河川**
氾濫のおそれがないように安全性を確保するとともに、自然環境の保護・保全に配慮しながら、親水空間の確保を図ります。



交通体系の方針

■ 道路の方針

*広域幹線道路

- ・国道287号、国道347号及び主要地方道寒河江村山線などについて、機能強化による渋滞の解消に努めるとともに、河北橋の抜本的改修、(仮称)第2谷地橋の架橋、田井橋の架橋促進を要請します。

*幹線道路

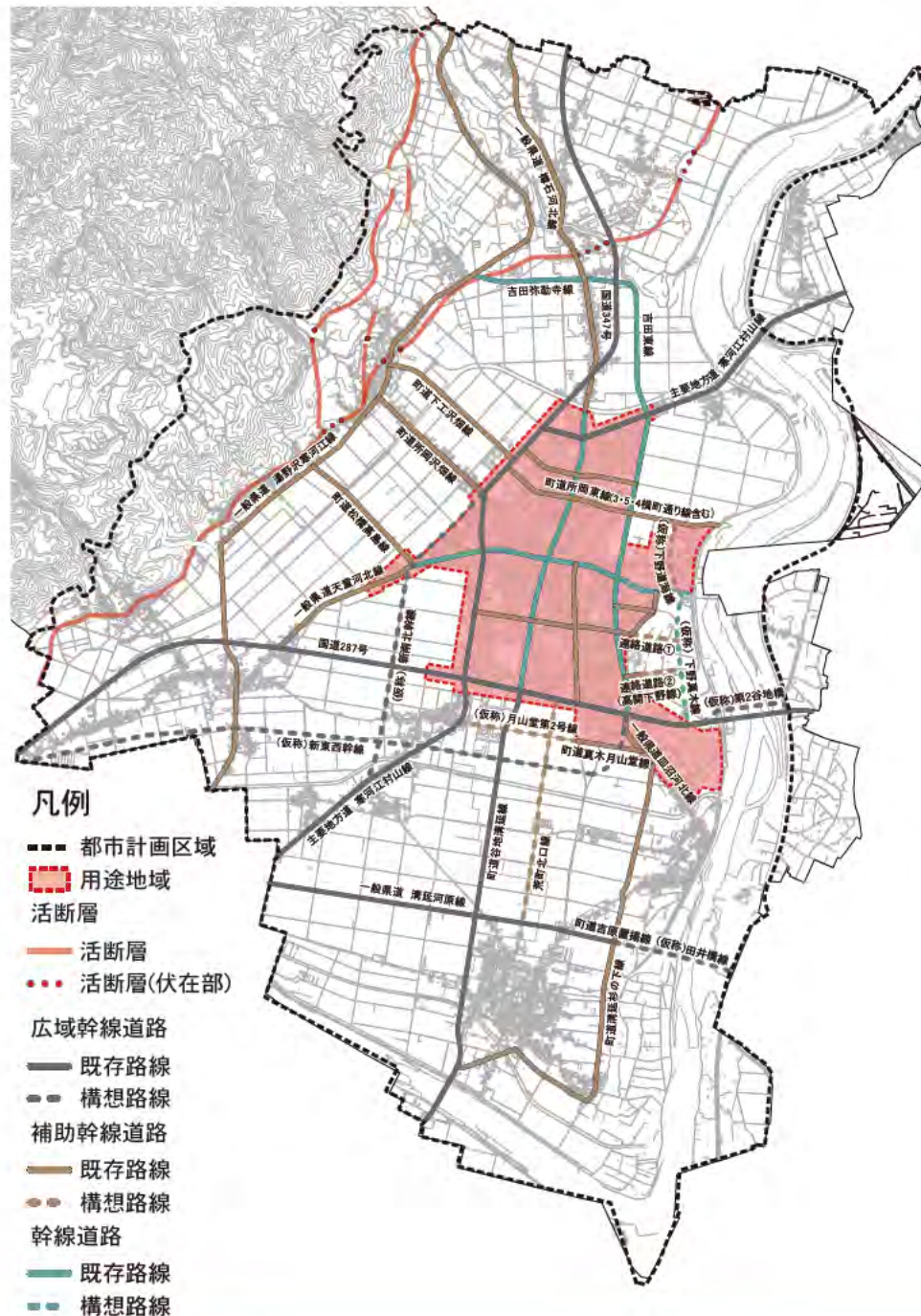
- ・市街地の良好な生活環境の形成や広域交通網との接続などを図るとともに、都市計画道路については再構築を検討します。

*補助幹線道路

- ・幹線道路と各地域間を結ぶ道路として、整備の緊急性を勘案し、順次整備を進めるとともに、歩道整備を促進します。

*生活道路

- ・既成市街地や集落内の狭あい道路については、道路幅員の確保を今後とも図ります。



■ 公共交通の方針

- ・関係機関との協力のもとで民間も入れた地域公共交通網形成計画の策定など計画的な公共交通網の維持方策を検討します。

■ 歩行者系ネットワークの方針

- ・文教施設、介護施設、医療・福祉施設等の周辺については、セミフラット構造による歩道の計画的な整備を検討します。
- ・自転車歩行者用道路の整備を促進します。
- ・自転車空間の整備及び通行空間の区分や路肩の活用なども検討します。

■ その他都市施設の方針

■ 公共公益施設の方針

① 行政・公益施設の方針

*行政施設

- ・役場庁舎について、外部検討機関含め、様々な検討を経ながら整備を図ります。また、その他行政施設の最適な施設配置の実現を目指します。

*教育施設(学校)

- ・校舎の改修工事等を計画的に推進し、災害発生時は避難施設として活用を図ります。

■ 生活サービス施設の方針

① 子育て施設の方針

- ・「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援施策の推進に努めます。
- ・教育施設との連携強化、子育て支援センターによる子育て環境育成・支援、保育施設の充実、放課後児童クラブの拡充等を図ります。

② 医療・福祉施設の方針

*高齢者福祉施設

- ・既設施設の維持・充実と、新たな整備を進め、施設入所待機者対策を図ります。

*地域包括ケアシステムの構築推進

- ・地域包括支援センターによる支援体制の充実により、健康寿命を延ばすための事業を推進します。

*医療施設

- ・県立河北病院は医療拠点として位置づけ、高齢者福祉及び医療の拠点となる地区形成について検討します。

■ 供給処理施設等の方針

① 上・下水道施設の方針

- ・公共下水道事業計画に基づく処理区域の整備を促進するとともに、災害に強い水道施設の整備を推進します。

② 河川整備の方針

- ・最上川水系河川整備計画に基づき、谷地橋上流・河北橋下流左岸築堤治水事業を国へ要望します。

都市防災の方針

■ 防災まちづくりの方針

① 市街地の防災対策の推進

- ・建築物の耐震化を促すとともに、防災性の向上を図り、安全な居住環境の形成に努めます。
- ・湯野沢断層周辺等への開発等の行為に対し適切な情報提供に努めます。

② 避難施設等の整備推進

- ・緊急輸送道路の確保、道路施設の安全化、避難場所等の確保を図ります。

■ 風水害や雪に強いまちづくりの方針

① 風水害対策の推進

- ・河川整備を促進し、洪水ハザードマップの更新を随時行い、洪水想定区域、避難場所等について町民に対し周知するとともに、円滑かつ迅速な避難の確保に努めます。
- ・土砂災害対策事業を継続的に推進するとともに、土砂災害危険区域等について、早期事業化を働きかけます。

② 雪害対策の推進

- ・河北町除雪計画に基づく道路除雪をはじめ、雪に強い交通基盤やライフラインの確保、融雪溝等の整備を推進します。

■ 防犯まちづくりの方針

- ・防犯に配慮した都市環境の形成を推進するとともに地域安全条例に基づき、地域における防犯意識の向上と防犯組織の充実を図ります。

環境形成の方針

■ みずとみどりの方針

① 公園及びレクリエーション施設の方針

- ・市街地内にバランスよく住区基幹公園を配置し、快適な環境空間としてだけでなくオープンスペースとしての確保を目指します。
- ・都市計画緑地は、河川環境の保全に配慮しつつ、多様なスポーツやレクリエーションを楽しむ空間と位置づけ保全・活用を図ります。
- ・サン・スポーツランド周辺、引竜湖周辺、眺望の丘周辺については、森林レクリエーション施設として維持・活用を図ります。

② 親水空間づくりの方針

- ・河川環境や周辺環境を踏まえつつ、多自然川づくりや親水化、川沿いへの遊歩道等の整備を検討し、身近な水辺のレクリエーション空間として活用を図ります。

③ 自然環境保全の方針

- ・河北町森林整備計画により森林機能の保全を図るとともに、グリーンツーリズムの推進と都市周辺農地の保全を図ります。
- ・ヒメギフチョウなどの生息域の保全、メダカ、ホタルなどの生物の保護活動について町民と協働して推進し、生物多様性の保全に努めます。また、古最上周辺について、国、県とともに自然環境保護の取り組みを図ります。

■ 都市環境形成の方針

① 都市の低炭素化の方針

- ・公共施設への再生可能エネルギー活用、住宅等の低炭素化の推進を図ります。
- ・地球温暖化防止計画の策定を推進するとともに、電気自動車などの導入や公共施設の照明のLED化などにより、二酸化炭素排出の抑制を図ります。

② 循環型社会推進の方針

- ・環境基本計画に基づき、環境保全町民会議の活動を推進し、資源循環型社会の形成に努めます。

■ 景観形成の方針

① まちなみ景観形成の方針

- ・紅花資料館周辺については、引き続き河北町美しいまちなみ景観条例や各種事業による景観形成を推進します。
- ・ひな市通り東地区については、引き続き地区計画に基づき、良好なまちなみ景観形成を推進します。
- ・敷地内や事業所内の緑化を推進し、みどりによる良好な都市景観の形成を図ります。
- ・既成市街地の良好な景観形成を図り風格のある街並みづくりを推進します。

② 自然景観形成の方針

- ・河北町環境基本条例や河北町美しいまちなみ景観条例等を活用しながら、山麓地及び山麓越しに見える月山等の眺望景観に配慮した里山景観維持を図ります。
- ・町のシンボルであるべに花の沿道への植栽や栽培の拡大により、べに花の里を実感できるような田園景観形成を推進します。
- ・最上川、寒河江川など河川の持つ、良好な自然景観の保全と育成を図ります。



地区区分



谷地地区

谷地地区は、本町の中心地です。ひなの里の歴史を感じる文化的で落ち着いた居住環境に暮らし、行政、商業、医療・福祉・文化・コミュニティ等の都市機能の更なる連携と活用により都市の魅力を高め、人々のあたたかな交流のある地区づくりを目指します。ひなの里にふさわしい魅力、交流、賑わいのある暮らしとまちづくりを目標とします。

■ 雑とべに花の里の形成方針

- * 雑とべに花の地域づくりの推進
- * 歴史と文化に暮らし、多くの人々が交流するまちなかの形成
- * 多様なレクリエーション活動の更なる活性化と自然環境の保全

■ 地区の整備の方針

- * 多世代のニーズに対応した居住環境の維持・向上
- * 地域の道路・交通ネットワークの充実
- * 災害や雪に強い地域づくりの推進



谷地西部地区

谷地西部地区は、町の中心部との連携を強化し、暮らしの利便性の向上を図るとともに、里山に広がるみどり豊かな農村集落環境を維持しつつ、紅花資料館や八景園と調和した美しい花の里づくりを目指します。

里山のみどりに花の歴史が咲く美しいまちづくりを目標とします。



西里地区

西里地区は、町の中心部との連携を強化し、暮らしの利便性の向上を図るとともに、里山に広がるみどり豊かな農村集落環境を維持しつつ、スポーツやグリーンツーリズムなど多様なレクリエーション活動を楽しめる地区を目指します。

里山での暮らしと、多様なレクリエーションを楽しめるまちづくりを目標とします。



溝延地区

溝延地区は、町の中心部との連携を強化し、暮らしの利便性の向上を図るとともに、最上川・寒河江川の豊かな河川景観と、広がる田園景観の中で、レクリエーションや果物収穫体験・農業体験等の交流のある地区を目指します。

田園風景の中での暮らしと水辺やくだものとのふれあいのまちづくりを目標とします。

■ 雑とべに花の里の形成方針

- * グリーンツーリズム活動の活性化
- * 最上川・寒河江川の水辺レクリエーション活動の活性化
- * 溝延の地域資源の活用

■ 地区の整備の方針

- * 集落の暮らしの向上と地域コミュニティの維持・活性化
- * 地域の道路・交通ネットワークの充実
- * 洪水等に強いまちづくり



北谷地地区

北谷地地区は、町の中心部との連携を強化し、暮らしの利便性の向上を図るとともに、里山や農業景観の中で花ノ木工業団地の産業振興と調和する地区を目指します。

緑と水辺の美しい風景の中で、産業と暮らしが調和するまちづくりを目標とします。

■ 雑とべに花の里の形成方針

- * 引竜湖周辺など自然レクリエーション活動の活性化
- * 北谷地の地域資源の活用

■ 地区の整備の方針

- * 花ノ木工業団地等の維持・充実
- * 集落の暮らしの向上と地域コミュニティの維持・活性化
- * 地域の道路・交通ネットワークの充実
- * 雪や災害に強いまちづくり



河北都市計画マスタープラン
【概要版】
平成 29 年 3 月

編集・発行 河北町都市整備課
〒999-3511 山形県西村山郡河北町谷地戊 81
電話 0237-73-2111(代表)
調査機関 朝日航洋株式会社

